

インド デリーメトロ8号線 信号システム長期保守契約を締結

日本信号株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：後藤隆一）の子会社であるNippon Signal India Private Limited（以下、NSI）は、デリーメトロ8号線向け信号システムにおいて10年間の長期保守契約をDelhi Metro Rail Corporation Limited（本社：インド）より受注いたしました。

デリーメトロ8号線（マゼンタライン）は、ジャナクプリウェスト駅からボタニカルガーデン駅を結ぶ総延長約37kmの都市鉄道路線です。当社は2013年に信号システム一式を受注し、当社製CBTC※の「SPARCS」を納入いたしました。その後、2018年に有人運転による全線開業、2020年にはインド初となる完全自動運転（GoA4）を実現しております。本契約は、これまでのシステムの安定稼働実績および保守対応が評価され締結されたものです。

また、当社が構築した鉄道システムを現地法人が継続的に支える体制を強化するものであり、インドにおける長期保守事業の拡大に向けた重要な一歩となります。

当社グループは今後も、信号システムに対する保守・技術サポートを提供し、インドの持続可能な都市交通の発展に貢献してまいります。

※1：CBTC…Communication Based Train Control の略。軌道回路等の閉塞によらず、無線により地上車上間で大容量データを通信し、列車を制御および防護するシステム。

< 案件概要 >

対象路線	デリーメトロ8号線（マゼンタライン）25駅・車庫 総延長約37km
契約期間	10年間
契約金額	約14億円（1ルピー＝1.6円で円換算）

10年間の長期保守契約

NSIが10年間にわたり、信号システムの保守・技術サポートを提供し、安全かつ安定した列車運行に貢献してまいります。



保守・点検
定期的な点検と
予防保全



技術サポート
迅速な対応と
技術支援



安定稼働の継続
システムの信頼性向上と
ダウンタイム最小化



安全・安心の確保
安全で快適な
輸送サービスに貢献

問い合わせ先

日本信号株式会社 総務部

〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング13階

Tel 03-3217-7200 Fax 03-3217-7300 E-Mail info@signal.co.jp